

令和4年度上半期の公営企業の業務の状況

大阪府が実施している事業のうち、中央卸売市場事業、流域下水道事業及びまちづくり促進事業（阪南臨海、南大阪湾岸、阪南丘陵各地区）については、地方公営企業法の規定の一部の適用を受けて特別の会計を設け、一般会計等と異なり企業会計の方式によって経営しています。

以下、これらの公営企業会計について、令和4年4月1日から令和4年9月30日までの業務の状況を説明します。

大阪府中央卸売市場事業

■ 事業の概要

大阪府中央卸売市場は、生鮮食料品等の流通の近代化及び合理化に寄与することを目的として、昭和53年4月に開設し、府民に生鮮食料品等を円滑かつ安定的に供給しています。令和4年度上半期の業務量は、第19表のとおりです。

第19表

業 務 量

	取扱数量（上半期）		
	青果物	水産物	計
令和3年度	79,108 t	17,409 t	96,517 t
令和4年度	74,371 t	14,850 t	89,221 t

■ 資産、企業債及び一時借入金の現在高

資産、企業債及び一時借入金の現在高は、第20表のとおりです。

第20表

資産の現在高（令和4年9月30日現在）

（単位：百万円）

区 分	現 在 高	構成比
1 固 定 資 産	7,690	75.8 %
(1) 有 形 固 定 資 産	7,650	75.4
帳 簿 原 価	29,507	—
減 価 償 却 累 計 額	21,858	—
(2) 無 形 固 定 資 産	1	0.0
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	40	0.4
2 流 動 資 産	2,450	24.2
合 計	10,140	100.0

企業債の現在高（令和4年9月30日現在）

（単位：百万円）

区 分	金 額	構成比
公 的 資 金		%
政 府 資 金	64	7.3
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	606	69.3
市 場 公 募 公 債	204	23.3
合 計	874	100.0

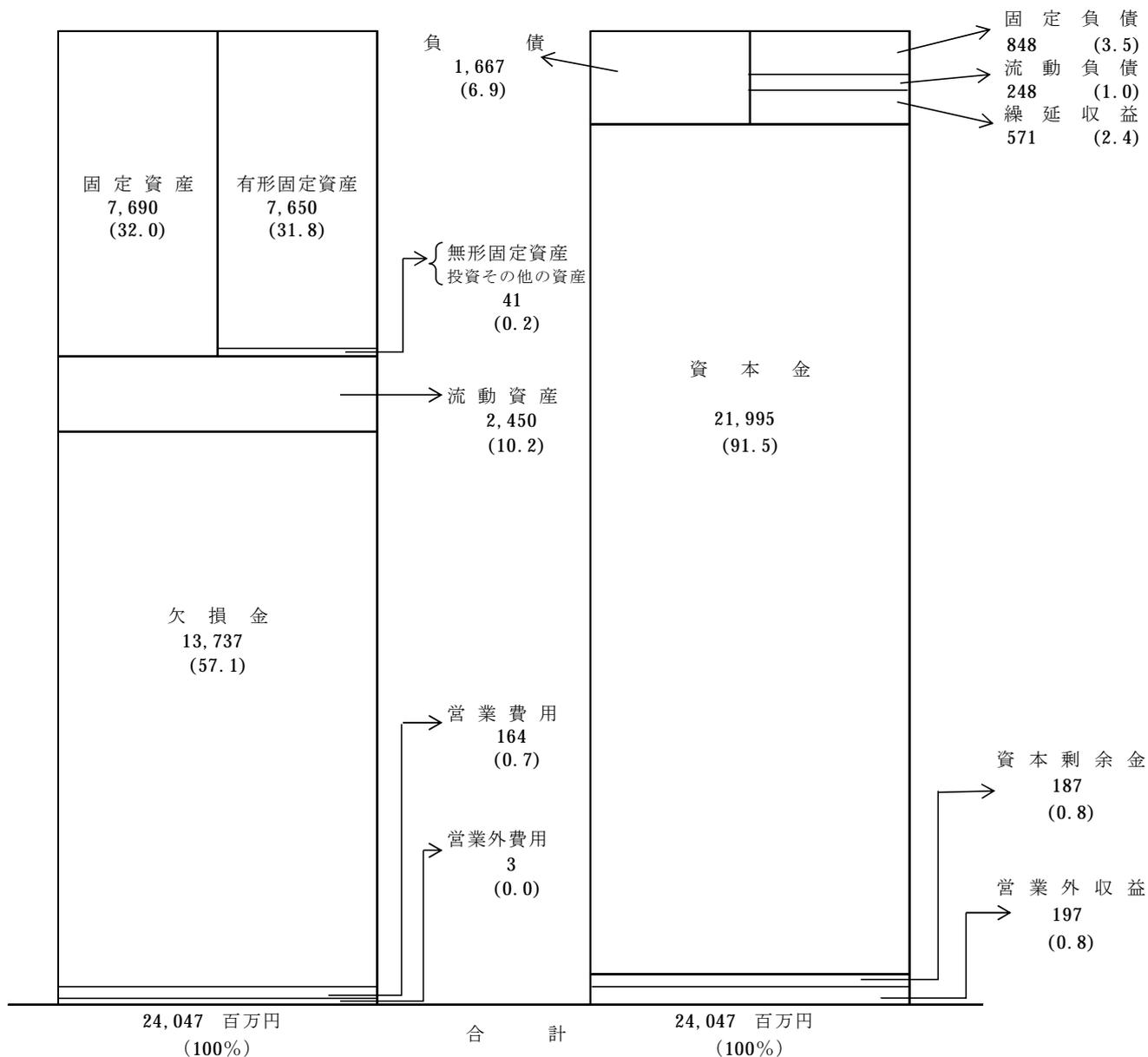
一時借入金の現在高（令和4年9月30日現在）

な し

■ 経理の状況

各勘定科目の残高の状況は下図、資本収支の状況は第21表のとおりです。

残高試算図（令和4年9月30日現在）



第21表

資本収支の状況（令和4年9月30日現在）

(単位：百万円)

区分	予算現額			執行済額 (B)	差引 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
	現計予算額	繰越額	計(A)			
収入	業債	1	—	1	—	—
	資	41	—	41	16	39.0
	計	42	—	42	16	38.1
支出	建設改良費	4	—	4	—	—
	企業債償還金	62	—	62	31	50.0
	基金組入金	20	—	20	—	—
計	87	—	87	31	56	35.6
収支差引	▲45	—	▲45	▲15	▲30	—

大阪府流域下水道事業

■ 事業の概要

大阪府流域下水道事業は、昭和 40 年に流域下水道として全国に先駆けて事業着手し、現在では 7 流域 12 処理区 (42 流域関連市町村) において事業を実施しています。令和 4 年度上半期の業務量は、第 22 表のとおりです。

第 22 表

業 務 量

		令和 4 年度	令和 3 年度
取扱数量 (上半期)	総処理水量	350,603,239 m ³	413,627,199 m ³
	一日平均処理水量	1,915,865 m ³	2,260,258 m ³
	一日最大処理能力	2,530,420 m ³ /日	2,530,420 m ³ /日

■ 資産、企業債及び一時借入金の現在高

資産、企業債及び一時借入金の現在高は、第 23 表のとおりです。

第 23 表

資産の現在高 (令和 4 年 9 月 30 日現在)

(単位：百万円)

区 分	現在高	構成比
1 固定資産	1,036,184	98.7 %
(1) 有形固定資産	1,009,121	96.1
(2) 無形固定資産	67	0.0
(3) 投資その他の資産	26,996	2.6
2 流動資産	14,031	1.3
合 計	1,050,215	100.0

企業債の現在高 (令和 4 年 9 月 30 日現在)

(単位：百万円)

区 分	金額	構成比
公 的 資 金	15,146	9.4 %
政 府 資 金	10,356	6.4
地方公共団体金融機構	4,790	3.0
民間等資金	145,679	90.6
市場公募	145,679	90.6
合 計	160,825	100.0

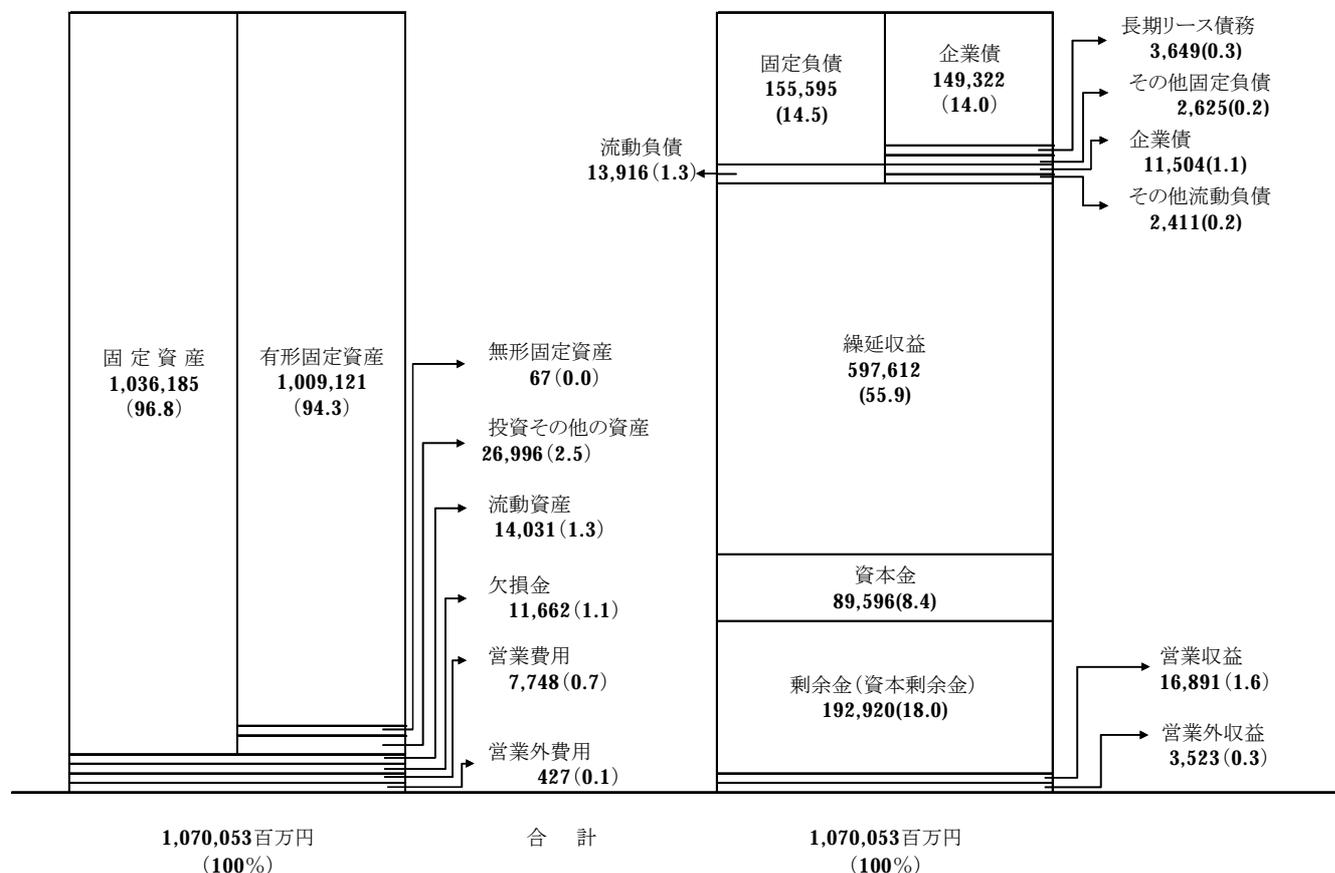
一時借入金の現在高 (令和 4 年 9 月 30 日現在)

な し

■ 経理の状況

各勘定科目の残高の状況は下図、資本収支の状況は第24表のとおりです。

残高試算図（令和4年9月30日現在）



第24表

資本収支の状況（令和4年9月30日現在）

(単位：百万円)

区分	予算現額			執行済額 (B)	差引 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
	現計予算額	繰越額	計(A)			
収入	企業債	13,001	753	13,754	199	1.4
	出資	4,480	-	4,480	2,500	55.8
	国庫補助金	13,050	4,200	17,250	-	-
	負担金	5,161	-	5,161	-	-
	受託金	457	63	520	140	26.9
	基金繰入金	5,551	-	5,551	996	17.9
計	41,700	5,016	46,716	3,835	8.2	
支出	建設改良費	25,068	7,695	32,763	5,453	16.6
	企業債償還金	15,555	-	15,555	4,050	26.0
	基金組入金	6,339	-	6,339	2	0.0
	国庫返納金	0	-	0	-	-
	建設負担金返還金	0	-	0	-	-
計	46,961	7,695	54,656	9,505	17.4	
収支差引	▲ 5,261	▲ 2,679	▲ 7,940	▲ 5,670	▲ 2,270	-

大阪府まちづくり促進事業

■ 事業の概要

大阪府まちづくり促進事業は、阪南臨海地区、南大阪湾岸地区及び阪南丘陵地区の産業用地の貸付けを行うことなどを目的として平成15年4月に開始し、平成24年4月から、阪南丘陵地区の住宅用地についても対象としています。令和4年度上半期の貸付状況は、第25表のとおりです。

令和4年度上半期は、阪南丘陵地区の土地0.3haを売却しました。

第25表

貸付の状況

地 区	前期までの実績 (H15～R4.3)	当期の実績 (R4.4～R4.9)		当期までの累計 (H15～R4.9)
		貸付分	契約解約分	
阪南臨海	17.8ha	—	—	17.8ha
南大阪湾岸	31.5ha	—	—	31.5ha
阪南丘陵	4.4ha	—	0.3ha	4.2ha
計	53.7ha	—	0.3ha	53.4ha

(注) 阪南丘陵地区の貸付面積の「契約解約分」は、定期借地事業者に対する土地売却に伴う契約終了分。

■ 資産、企業債及び一時借入金の現在高

資産、企業債及び一時借入金の現在高は、第26表のとおりです。

第26表

資産の現在高 (令和4年9月30日現在)

(単位：百万円)

区 分	現在高	構成比
1 固定資産	87,239	81.6 %
(1) 有形固定資産	87,239	81.6
(2) 投資その他の資産	—	—
2 流動資産	19,675	18.4
合 計	106,914	100.0

企業債の現在高 (令和4年9月30日現在)

(単位：百万円)

区 分	金額	構成比
民間等資金	97,585	100.0 %
市場公募	97,585	100.0
合 計	97,585	100.0

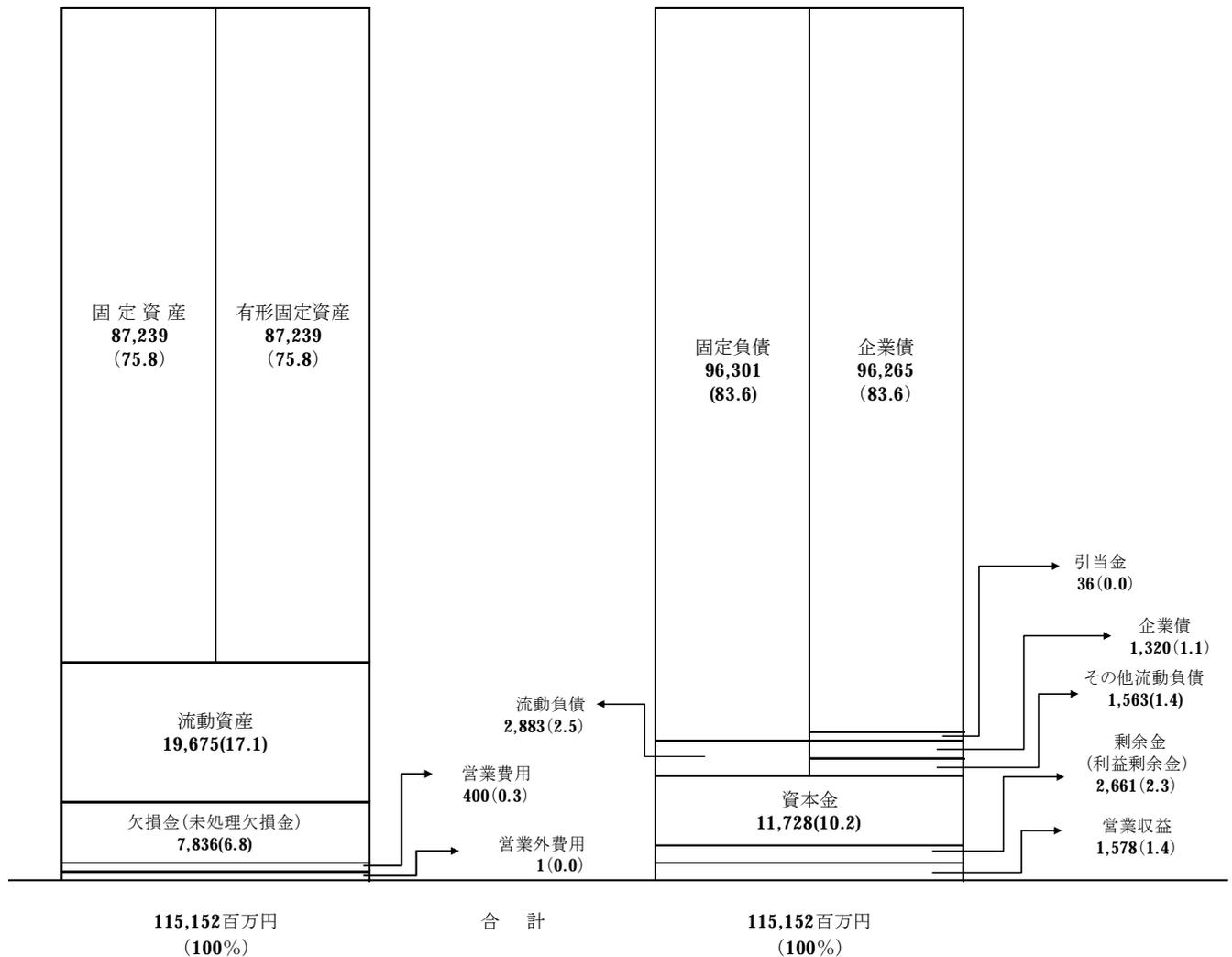
一時借入金の現在高 (令和4年9月30日現在)

なし

■ 経理の状況

各勘定科目の残高の状況は下図、資本収支の状況は第27表のとおりです。

残高試算図（令和4年9月30日現在）



第27表

資本収支の状況（令和4年9月30日現在）

(単位：百万円)

区分	予算現額			執行済額 (B)	差引 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
	現計予算額	繰越額	計(A)			
収入	企業債	1,254	—	1,254	—	—
	計	1,254	—	1,254	—	—
支出	企業債償還金	1,320	—	1,320	—	—
	計	1,320	—	1,320	—	—
収支差引	▲ 66	—	▲ 66	—	▲ 66	—